

中川 真一議員（代表質問）

1 2019年度当初予算編成について

- (1) 過去最大規模になった要因は何か。
- (2) 市民要望が第一優先の超積極型予算となったとのことだが、どのような市民要望か。
- (3) 思い切った予算であるが、財政は大丈夫か。
- (4) I C T 教育の充実に向け、小学校全校に 1 学級分のタブレット購入費があるが、今後の予定は。

2 子ども未来サポートセンターについて

- ・ 子ども未来サポートセンターを子ども課と市民健康センターが連携して行うことだが、センターの設置場所など具体的な内容は。

3 まちづくりについて

- ・ 中滑川駅周辺整備の基本構想について、地元地域の皆さんへの説明会での反応はどうであったか。

4 タラソピアを存続することだが。

- (1) 平成27年11月に公共施設のあり方に関する提言書を提出したが、十分に検討されたのか。
- (2) 存続と決めた大きな理由は何か。
- (3) 今後、利用者の増加は見込めるのか。
- (4) 施設の老朽化がますます進むものと思うが、対策は考えているのか。

- (5) 設備の劣化により、ますます修繕費が多くなるのでは。
- (6) 観光施設から健康増進施設へと活用を進められているが、その効果は出ているのか。
- (7) 地域包括支援センターや市民健康センターと連携し、健康増進を特化した利用促進とのことだが、具体的にはどうされるのか。

5 市長海外視察密着テレビ放送について

- ・ 市民・県民がテレビ放映で不快な思いや迷惑をかけたと思う。謝罪をすべきと思うが。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 消費税増税の影響について

- (1) 市民生活への影響をどう見ているか。
- (2) 市の財政への影響をどう見ているか。歳入、歳出両面での影響はどうか。

2 防災行政無線のデジタル化について

- (1) 現行の防災ラジオが利用できるとのことだが、デジタル局とアナログ局が併存するということか。ずっと可能なのか。
- (2) 中継設備なしに、市内全域をカバーできるか。
- (3) 移動系設備の活用方法について

3 市民の安全確保のために

- (1) 報道によれば、県内で用水路事故が多いとされている。市内での事故の実態は把握されているか。
- (2) 対策は検討されているか。

4 子どもへの虐待事件について

- (1) 痛ましい子どもへの虐待事件が報道されている。市内での状況はどうか。
- (2) 対応できる体制は整っているか。関係機関との連携は大丈夫か。
- (3) 「子どもの権利」について、啓発する機会が必要ではないか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 予算執行の在り方と購入物の性能について

- (1) 平成30年度の予算の中で情報教育設備充実費が盛り込まれているが、まだ執行されていない。いつ学校に届けられるのか。また、どれくらいの性能をもつ機種か。
- (2) なぜこんなに遅れるのか。求める性能と金額が合わないのか。土木や建築なら予期できるが、なぜ市販されている商品を現場（学校に）届けてあげられないのか。
- (3) このタブレットは届けば使用可能か。どの程度の機能が内蔵されているのか。
- (4) 1台のタブレットは何年ほど使用可能か。落として壊れたらどのように補填するのか。
- (5) 調達に時間を要した原因として、仮に予算の規模が合わなかつたら、補正してもいいと考えるがどうか。今回は適切な予算であったのか。1年間がもったいない。
- (6) 予算の執行状況について、市長はどのように報告を受けているのか。

2 子どもの預り態勢について

- (1) 放課後児童育成クラブについて（学童保育について）
 - ア 現在、学童保育に登録されている人数は何人か。
 - イ 登録料の設定は市が行っているのか。市民は登録料は市に納付していると思っている。どのような仕組みになっているか。
 - ウ 1日でも20日でも利用料は一律なのか。原則、祖父母のおられる人は利用できない。でもどうしても都合の悪い日のために緊急対策として、5日程度日割り計算ができるシステムや回数券を考えはどうか。近隣市町も取り入れている。
 - エ 今年の入学式は4月5日だが、学童保育の新入生の預かりは各クラブ単位でバラバラに行うと聞いた。国や県からの補助体制の中で、住民が公平にサービスを受けることができるよう、滑川市は統一するべ

きではないか。

- (2) 5月の大型連休で保育園、認定こども園、幼稚園児の預かり環境の予定はできているのか。ファミリーサポート施設型はどうか。

3 児童虐待防止の現状は。

- (1) 滑川市は現在の体制で問題はないのか。専門家の配置はされているか。虐待防止のためのマニュアルはあるのか。
- (2) 市民の不安や相談をどの部署で、誰が受けるのか。
- (3) 市内で心配される事案はあるのか、ないのか。
- (4) 今後どのように取り組んで行くのか。

青山 幸生 議員（一般質問）

・ 人口増加口に向けて

- (1) 滑川市ひと・まち・産業（しごと）創生総合戦略は、平成31年度が計画期間の最終年度である。これまでの取り組みを伺う。
- (2) 新年度からの次期総合戦略策定時に取り入れるものは。
- (3) 厚生連滑川病院産科運営補助分の具体的な使い道は何か。
- (4) 定住促進住宅の入居率向上についての進捗は。
- (5) 平成31年度重点事業に関する要望、「農業用用排水路の変更であって、施設の従前の機能維持を目的とする事業の土地改良事業等からの除外について」の進捗はどうか。
- (6) 幼児教育無償についての指針が出た。改めて本市第2子・3子保育料無料の影響差額はどうか。また今後の対応は。
- (7) 工業振興対策費の工業振興事業補助金において「新たに認定を受けた研究施設を整備した企業に交付される新成長産業研究施設立地交付金について」の詳細は。
- (8) 平成29年6月定例会の答弁でのコンセプトを、今回の行田公園整備事業費の整備でどれだけ取り入れるのか。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 中滑川駅周辺整備基本構想について

(1) 基本構想の実現に向けての計画スケジュールでは、新年度予算案にも中滑川駅周辺整備事業測量業務、設計業務、進出誘致活動、先進地調査など中滑川駅周辺整備事業に1,310万円が計上されており、2020年度には造成工事、建設工事が開始される計画であるが、基本構想には具体的な提示がなく不明な点が見受けられる。「構想段階であるから具体的なものはこれから」という考え方にはリスクを伴うのではないか。

ア 1月31日に中滑川駅周辺整備検討特別委員会協議会が開催され、基本構想の説明の中で「事業費はどれだけ想定しているか」との質問に対し、藤名建設部長より「先に金額があると自由な発想や良い発想が出にくくなる。基本構想段階では金額の積み上げはしなかった。したがって現時点では金額は申し上げにくいところがある。今後、建物の配置、広場の形状、内外のデザインなど具体化していく中で事業費の積算をしていきたい。」と説明されたが、1年後に造成・建設工事を計画している事業において総事業費の見込みをたてていないのか。

イ 協議会の中で、財源についても「国、県の交付金や補助金など有利な手法を模索している段階である。国交省の都市防災総合推進事業の採択を目指すが、それだけではなく、省庁問わず複数の補助金・交付金を検討し、公共施設整備基金も視野に入れている。」と説明があったが、総事業費に対して計画していた補助金や交付金が確保できなかつた場合でも、不足分を補填し事業開始するのか。計画を再構築するのか。

(2) 現時点での施設イメージ・目的は何か。誰のため、何のための構想なのか。

ア 平成29年6月から7月にかけて、近隣の9町内でのまちづくり座談会を実施し、必要な都市機能の把握に努められたとされているが、意見がどれだけ反映されているか。また、本年2月より9町内で説明会を開催されたが、地域の方々の反応はどうか。

イ 中滑川駅から1km圏内には座談会での市民ニーズである小売店・公園・飲食店・スポーツ施設・会議室などは完備されていると考えるが、市民ニーズに対する当局の見解はどうか。

ウ 市長提案理由説明にある、「市街地としてまとまりのある魅力的なまちなか形成」とは何か。また、「子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる施設整備」とは何かを問う。

- (3) 昭和44年に駅舎と併設された農協会館建設時は、金融機関や小売店、飲食店等があり、駅利用者数も多く賑わっていたと思うが、現在のようには郊外型の大規模集客施設はなかったことや、住宅の郊外化等による人の流れも少なかった時代から時間の経過とともに市民ニーズが郊外へと移るようになり、老朽化し解体される前から賑わいが薄れていき、各店舗の集客力は低下していったのではないか。商業的にそのような場所を整備する際は、利用者ニーズ・事業者ニーズ・年齢層・男女比率・時間帯集客力・特徴などを明確に基本構想へ落とし込むべきと考える。構想段階からより具体的に整備計画を形成し、計画スケジュールを修正すべきではないか。
- (4) これまで同様の行政主導の新たな施設建設から、民間企業の投資と創業支援事業発信を組み合わせ、事業者側へのサポート体制を築きながら、多くのひとがチャレンジを繰りかえし行える施設環境整備へと手法をシフトし、循環型持続可能整備を推進できないか。

2 東福寺野自然公園研修センターについて

- (1) 2月8日に開催された定例議員協議会において、上田市長より「青雲閣の今後の方針として、東福寺野自然公園研修センターを含む周辺一帯を整備する。」という方針説明があったが、平成30年6月定例会での質問事項について検討していくと発言された事項について再度問う。
- ア 平成28年度利用人数4,881人、収益735万7千円、管理費2,390万4千円、平成29年度利用人数5,550人、収益908万3千円、管理費2,793万8千円であり、管理費が収益を大きく上回っている現状をどう改善していくのか。
- イ 目標とする各数値目標はどうか。
- ウ 昭和49年建設当時とは社会構造、市民ニーズが変化する中、利用需要は今後も見込まれ、持続可能なのかとの質問では「年月を経て少子高齢化社会構造、市民ニーズは変化しているが、変化に合わせて管理形態については指定管理者制度を導入し経費節減に努めているところであり、引き続き多くの方々に利用していただけるよう、魅力ある利用方法を検討していく。また、新たな需要を創出するかとの質問には、「整備計画策定の際に検討していく。」と説明された。魅力ある利用方法、新たな需要への方針決定があつての整備方針なのか。
- エ 「立地環境は滑川市民の誇れるものの1つと考えており、地域資源である豊かな自然を生かした研修施設として、これから計画して

いく。」と答弁されたが、研修施設建設を求める市民ニーズはどれほどあると考えているか。

- (2) 教育委員会のみで検討していっては、研修センターの機能を保つことに重点が置かれ、様々な土地利用価値の可能性を見いだせないのでないか。

3 財政について

- 平成31年度歳入において、地方交付税、前年度比10.8%減を各種基金の取り崩しにより財源確保をされたが、将来的な基金残高の推移については減少していくと見込んでいたながら、不足分調整額として計画的財政運営なのか。公共施設老朽化対策や災害対策、景気変動に伴う法人税減少など、各対策の備えに問題はないか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 観光振興について

- (1) 先日訪問した台湾への観光PRキャラバンについて、今回の目的の達成度の検証と、今後の課題、そしてどう観光客の誘致につなげていくのか。
- (2) 一度訪問をし、市長がトップセールスしたからといって、すぐに観光客が増える訳ではない。更なる営業活動として、台湾の旅行業者の富山県への送客担当者を滑川市へ招待し、実際にほたるいか海上観光やほたるいかミュージアム、クルージングなど、見て体験してもらいPRすべきと考えるが見解は。
- (3) 台湾観光協会へ表敬訪問した際、今年の7月26日から29日の4日間のスケジュールで現地で美食展が開催されると伺った。富山県として紹介ブースを出展されるとも伺ったが、滑川市として、県と一緒に市内の旅館組合や飲食店組合の代表者等にも同行していただき、ホタルイカのPRを行ってはどうか。
- (4) 今回PRに伺った旅行業者から、団体客の送客として、企業の社員旅行などは、多少金額が高くても、満足していただける旅行商品を求めているとも聞いた。地元の民間業者の企業努力に任せるのか、あるいは、本市として取り組める、賛同できる企画等について民間業者と一緒に事業展開していく考えはあるのか。
- (5) 今年5月の日台観光サミット、10月の世界で最も美しい湾クラブの総会が富山県で開催されるが、エクスカーションの内容についてどのような計画なのか。

2 消費税率の引き上げにかかる条例改正について

- (1) 今定例会で上程された条例改正について適正と考えているのか。
- (2) 入場料、入館料、使用料などの料金変更が、全ての施設にあてはまっているとは見受けられない。適正な料金設定なのか関係者としっかりと協議を行ったのか。

(3) 体育施設等の公共施設の利用料金について、以前より、市内、市外の利用者へ利用料金の差をつけるなど、改善すべきと提案してきたが、条例変更しようとしている現在、そのような議論はなかったのか。

3 子どもたちの安全安心について

- ・ 昨年実施した通学路の点検後、危険箇所の対応について進捗状況は。

角川 真人 議員（一般質問）

1 タラソピアの活用について

- (1) 外壁面看板設置工事費とあるが、どういったものにする予定か。
- (2) 市長は以前からこの施設を高齢者の健康づくりに活用したいと述べておられるが、具体的な取り組みとそれに対する支援等はどのようになっているか。
- (3) 利用を16歳以上としているのは健康に配慮してのものか。高齢者は問題ないのか。

2 空き家空き地の活用について

- (1) 空き家対策推進事業の実績はどうか。
- (2) 空き家の所有者が市外の方だった場合の取り組みはどうなっているか。
- (3) まちなかの取り壊した跡地を活用して、緊急車両がスムーズに移動できるよう道路改良を検討してはどうか。

3 なめりかわ昭和今昔写真館について

- (1) 市制60周年記念で発行されたこの本をいまだ希望される方は多い。復刻してはどうか。
- (2) 改めて写真を探し、平成今昔写真館を発行してはどうか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 東福寺野自然公園研修センターについて

- (1) 公共施設等総合管理計画に基づく、管理運営方針についての検討結果について
- (2) 見直し方針に基づき、今後の具体的な基本構想、基本計画、実施計画、測量・設計・実施等のタイムスケジュール、並びに概略予算について
- (3) 今後の全面的な見直しに際し、情報の共有化と検討組織（協議会）等の設置による、中長期的な議論・検討について

2 中滑川駅周辺地区整備について

- (1) 中滑川駅周辺地区整備の調査・設計、並びに基本計画の策定は、整備基本構想に基づいての策定なのか。
- (2) 周辺地域住民への整備基本構想説明会を、いつ・どこで実施され、その意見・要望等の内容について
- (3) 事前説明会、並びにアンケート調査による結果内容が、この整備基本構想にどの様に生かされているのか。
- (4) 周辺地域住民以外の地域の住民、並びに市民への整備基本構想説明会の実施予定について
- (5) 整備基本構想での施設は、何のため、誰のための施設なのか、そして何をしたいのか。
- (6) 公共施設の複合化、市民健康センターと働く婦人の家との統合、中滑川駅裏の整備等、今後の公共施設の統合等、並びに将来の公共施設維持管理費削減の観点からも、議論の場である組織（協議会）を設置され、更なる整備基本構想見直しの検討について

3 地区コミュニティセンターの利用について

- (1) 政党、政治、議員等の活動のための、地区コミュニティセンターの利用について、利用不許可の処分についての理由並びに根拠について
- (2) 公民館の運営に関し、「行ってはならない公民館の行為」について、社会教育法第23条第1項第2号の解釈についての見解は。
- (3) 県より通知されている、社会教育法第23条第1項第2号の解釈についての「文部科学省の事務連絡」に対する見解、並びに今日までの対応について
- (4) 中山間地域において、政党、政治、議員活動等で、報告会、意見交換会、諸会議等について、地域の拠点であるコミュニティセンターが利用できないのであれば、どこで実施すればよいのか見解を。

4 海外視察による不適切発言について

- (1) 不適切発言・問題発言に対し、市に対する批判や苦情・意見の実態、内容、並びにその対応について
- (2) 歴代の首長の海外視察、海外訪問・研修、並びに海外出張の実績、並びにその見解について
- (3) 就任されるたびに、1回目はデンマーク、ドイツ、2回目はオランダ、スペイン、3回目はフィンランド、スイスと、毎回の全国市長会の視察への見解について
- (4) インタビューでの、「日本に帰ったらあなた方、やった分だけ何かしますからね。」「何かありますよ。」の発言の趣旨について
- (5) 「無礼者、楽しい時間を。」の発言の趣旨について
- (6) 「私ね、全部忘れるの。」「セコイこと考えない方がいいよ。」の発言の趣旨、並びにそれをマネする子どもたちの教育上の観点からの見解について

- (7) 海外視察・訪問並びに国内研修も含めて、出張の報告書の公開について、過去にさかのぼっての公開、並びに今後の公開の対応についての見解は。
- (8) 滑川市のイメージの低下、並びに観光へのイメージ低下等の影響、並びにその対応についての見解は。
- (9) 一連の「不適切発言」、「問題発言」に対する、市民への説明の機会、そして市民への謝罪の機会についての見解は。

岩城 晶巳 議員（一舟安質問）

1 觳光について

- (1) 富山湾に春の到来を告げるほたるいか漁が始まり、いよいよ滑川市一番の売り、「ほたるいか海上観光」が始まる。インターネット予約でも好調であると聞く。
- ア 先月は観光誘致に当局、議会と一緒に台湾を訪問されたが、台湾のみならず外国からの予約はあるのか。
- イ 予約の状況を見ると、平日が少ない。何か対策を考えているのか。
- ウ 各方面の努力により予約は好調だが、例年の運航率を考えれば50%の方々は乗れない計算になる。今年はどんな対応をとるのか。
- エ 5月に「日台観光サミット」、10月に「世界で最も美しい湾クラブ総会」が富山で開催されることから、体験型見学会を実施したいとのことであるが、折角の機会でもあり、富山湾岸クルージングは、他市への寄港を今年から実施できるのか。
- (2) 有機海サービスエリアの裏口から入るアクセス道路の整備をしたいとのことだったが、その後の状況はどうなっているのか。
- (3) 那須塩原市では、市の主催での懇親会は宣伝をかねて、特産品の牛乳で乾杯するが、滑川市は、深層水で行ってはどうか。

2 防災対策について

- ・ 自主防災組織について
- ア 自主防災組織率はどの程度なのか。
- イ 設立後、財政的支援がしてもらえなかつたと聞いたが条件はあるのか。
- ウ 平成28年度から5年間で50人の防災士を養成すると聞いていたが、どうなっているのか。

3 教育について

- (1) 子どもたちのスマートフォンの学校への持ち込みを、国が認める方針と聞くが、滑川市はどうなのか。

(2) 全国的に、親による子どもへの虐待が報道されている。富山県でも19人が安全確認ができないとのことである。滑川市においてはどうなのか。

(3) 4小学校に1クラス分のタブレットを購入してこれで全ての学校に揃った。これらを活用した教育方針をたずねる。

4 防犯について

(1) 新年度予算で防犯カメラ12基設置となっているが、場所はどこか。

(2) 県警が実施している「防犯カメラのレンタル事業」についてレンタル期間が終了した後、地域で買い取る場合は補助するとされている。

ア 滑川市に何カ所あるのか。

イ 價格的にはどの程度の地元負担で購入できるのか。

(3) 県内各駐在所に防犯カメラが設置されていると聞くが、滑川市はどうなのか。

5 産業について

(1) 安田工業団地第4期工事が完成して1年たつが、進出の相談もあり、急いで造成したと思っている。その後話が聞こえてこないが、現在の状況はどうなっているのか。

(2) 早月加積地区に進出されたロキテクノは、今年末までには工場が完成され、来年の春より操業とのことである。滑川市も進出助成金を支払うことを考えれば、地元採用もお願いすべきではないか。

尾崎 貴徳議員（一般質問）

1 認知症対策について

- (1) 市内での認知症の診察医療機関はどこか。
- (2) 認知症に係る相談窓口はどこか。
- (3) 平成30年度の認知症の相談件数は何件か。
- (4) 初期集中支援チームの昨年4月からの活動件数は何件か。
- (5) 初期集中支援チームの存在をどのように周知させているのか。
- (6) 認知症サポーターのステップアップ講座の計画について
- (7) オレンジカフェの今後の計画について

2 教育について

- (1) 平成31年度はALTを1人増員して4人配置する計画であるが、JETプロジェクトを大いに活用して、1校1人に配置すべきではないか。
- (2) 教員のICT活用指導力向上のためにコンピュータコーディネーターを増員すべきではないか。

3 児童虐待について

- ・ 児童虐待防止に向けて、今後の国の動きとして関係機関の情報共有システムの構築や、児童福祉法の改正の動きがあるが、現在の市の体制に問題はないか。

4 市長のテレビ発言について

- ・ 2月1日に放映されたフジテレビ番組を視聴した市民から様々な声を聞く。「初心忘れず」という言葉があるが、今後の市長としての姿勢を伺う。